関西大学バレーボール春季リーグ9日開幕（女子）

武庫川女大

攻守にわたり安定感ある中本に期待

昨年度同様に平均身長が低いため、レシーブとコンビネーションを中心に強化して練習を行った。試合形式からフォーメーションの調整を積み重ねる。

喜多あゆみ主将は「安定したレシーブから速いコンビバレーを展開し、上位チームに挑む。コロナ禍で大変な状況の中で試合をさせていただけることへの感謝の気持ちを忘れず、一人一人の強みを生かしたバレーを展開したい」と、目標3位以内を掲げた。

注目の選手は中本杏珠＝写真。攻守にわたり安定感のあるオールマイティーな選手だ。高さを生かした攻撃と安定したレシーブでチームを勝利に導く大黒柱。最後の春季リーグとなる今大会も活躍が期待されている。

◇武庫川女大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	中本杏珠	4＝大阪国際滝井
OH	岡本優乃	4＝京都橘
MB	延口琴音	4＝高松南
S	吉岡乃愛	4＝京都学園（現京都先端科学大付）
MB	滝尾心	3＝香ケ丘リベルテ
OH	玉置聖	2＝四天王寺

神戸親和女大

大森主将「27人全員で勝ちにこだわる」

新型コロナウイルス対策で2月は2時間、3月から4時間練習を週6回行ってきた。個人の技術向上とフィジカルトレーニングを積み、限られた練習試合を通しチーム内の連係を図った。

大森菜月美主将＝写真＝は「一人一人の最大限の力と気持ちをつなぎ合わせ、27人全員で勝ちにこだわるミスの少ないチームを目指し、粘り強い親和バレーを展開したい」と春季リーグ戦制覇を目標に掲げた。自身1年生の時からリーグ戦経験があるだけに「試合中にみんなと目を合わせ、チームが冷静になれるようにする」と、精神的支柱になることも目指す。

注目の選手は、ミドルブロッカーの徳安七海。センターからの幅広いコースの打ち分けが持ち味だ。

◇神戸親和女大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	大森菜月美	4＝聖カタリナ学園
MB	徳安七海	4＝神港橘
MB	山下とも	4＝建国
OH	亀井さくら	3＝姫路南
L	兵郷珠彩	3＝就実
L	藤本優香	3＝神戸野田
OP	田中麻帆	2＝札幌山の手
S	津田佳衣都	2＝聖和女学院

帝塚山大

大西主将「全日本インカレ4強目標」

今リーグに向けては週6回、新型コロナウイルス感染防止対策でマスクを着用して練習を実施。コミュニケーションを多く取りながら試合への実戦練習を行ってきた。

大西風歌主将＝写真＝は「一からチームづくりをしてきました。春季リーグ戦で優勝することを通過点とし、全日本インカレのベスト4を最終目標に掲げ、さらなるレベルアップができるように頑張ります」と、リーグ戦3季連続優勝へ力強く宣言した。

注目選手は、アウトサイドヒッターの横田希歩。1メートル82の長身を生かした高い打点からの力強いスパイクが持ち味だ。昨年からスタメンとして定着、今年度もチームを引っ張っていくエースとしての期待を背負い、コートに立つ。

◇帝塚山大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
S	大西風歌	4＝高知中央
OH	横田希歩	4＝富岡東
MB	尾木美奈	4＝高知中央
L	福留萌	4＝高知中央
MB	北山佳月	3＝誠信
L	足立優愛	3＝履正社
OP	前田ひまわり	3＝奈良文化
OH	渡邉愛梨	2＝和歌山信愛

1部全試合をライブ配信

関西大学バレーボール春季リーグ戦（本社後援）女子1部が9日に開幕する。男子リーグ戦と同様に新型コロナウイルス感染対策のため無観客で試合を行う。春季リーグ戦は2019年度以来3年ぶりの開催。昨秋のリーグ覇者・帝塚山大など12チームが春の関西学生の№・1をかけてコートで激突する。また、今春より1部全試合を「UNIVAS LIVE」でライブ配信する。

混戦模様の優勝争い 帝塚山大が有力候補

1部展望

今春の優勝争いは混戦が予想される。昨秋は帝塚山大が全勝優勝を果たしたが、チームの大黒柱だった吉田美海（現デンソー）が卒業した影響は免れない。吉田以外にも主力が抜けたため、経験の少ない選手がどれだけカバーできるか。それでもリーグ戦連覇中の底力で優勝の有力候補であることは変わらないだろう。

神戸親和女子大、武庫川女子大、千里金蘭大にも十分にチャンスがあるだけに最後の最後まで優勝の行方がもつれるかもしれない。昨秋4位の千里金蘭大は小柄な選手が多いが、高いレシーブ力と速い展開で勝負する。団結力があるのも強みだ。

さらに龍谷大、京都橘大も過去の優勝実績から上位に進出してくる可能性は十分だ。また、20年秋季リーグ戦で最後の最後に全日本インカレ出場を逃し、昨秋も10位に終わった関大の戦いぶりも注目される。

◆関西大学バレーボール連盟◆

1953年（昭28）に関西女子大学バレーボール連盟が設立。55年から春・秋リーグ戦の開始。62年から63年にかけ9人制から6人制への移行。98年、学生連盟と女子大学連盟が統合し現在の名称に。現在は67チームが加盟し1部～7部で構成。

各部共に全チームの総当たりにより順位を決定。各部最下位と次の部1位は自動昇降、また各部下から2番目チームと次の部2位が入れ替え戦を行う。

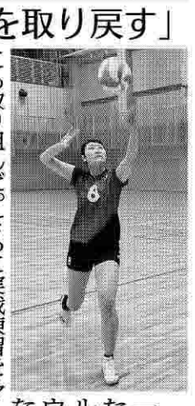
◇女子1部春季リーグ戦日程表◇

	日時	カード		
第1日	4月9日	龍谷大－園田女大	京都橘大－京産大	
		武庫川女大－関人	千里金蘭大－天理大	
		帝塚山大－関西福祉大	神戸親和女大－芦屋大	
第2日	10日	千里金蘭大－関大	武庫川女大－天理大	
		帝塚山大－芦屋大	神戸親和女大－関西福祉大	
		京都橘大－園田女大	龍谷大－京産大	
第3日	16日	帝塚山大－関大	神戸親和女大－天理大	
		京都橘大－芦屋大	龍谷大－関西福祉大	
		武庫川女大－園田女大	千里金蘭大－京産大	
第4日	17日	武庫川女大－京産大	千里金蘭大－園田女大	
		龍谷大－芦屋大	京都橘大－関西福祉大	
		帝塚山大－天理大	神戸親和女大－関大	
第5日	23日	関大－芦屋大	武庫川女大－京都橘大	
		天理大－関西福祉大	帝塚山大－園田女大	
		千里金蘭大－龍谷大	神戸親和女大－京産大	
第6日	24日	神戸親和女大－園田女大	帝塚山大－京産大	
		関大－関西福祉大	千里金蘭大－京都橘大	
		天理大－芦屋大	武庫川女大－龍谷大	
第7日	5月7日	武庫川女大－関西福祉大	千里金蘭大－芦屋大	
		園田女大－天理大	京産大－関大	
		神戸親和女大－龍谷大	帝塚山大－京都橘大	
第8日	8日	帝塚山大－龍谷大	武庫川女大－芦屋大	
		神戸親和女大－京都橘大	千里金蘭大－関西福祉大	
		京産大－天理大	園田女大－関大	
第9日	14日	京都橘大－天理大	龍谷大－関大	
		神戸親和女大－武庫川女大	京産大－関西福祉大	
		帝塚山大－千里金蘭大	園田女大－芦屋大	
第10日	15日	神戸親和女大－千里金蘭大	京産大－芦屋大	
		龍谷大－天理大	帝塚山大－武庫川女大	
		園田女大－関西福祉大	京都橘大－関大	
第11日	22日	天理大－関大	芦屋大－関西福祉大	
		龍谷大－京都橘大	京産大－園田女大	
		帝塚山大－神戸親和女大	武庫川女大－千里金蘭大	

※新型コロナウイルスの影響により無観客にて開催。試合会場、時間は非公表

京都橘大

燃える西村主将「強い橘を取り戻す」



週6日、半日または一日練習を行ってきた。3月は個人のスキルアップはもちろん、ウエートトレーニングなどでフィジカル強化にも取り組んだ。さらに実戦練習を多くすることで伝統のスピードバレーの追求、高さを生かしたブロックを強化した。

西村美海主将＝写真＝は「春季リーグで試合を積むにつれ成長し、西日本インカレ、全日本インカレでは上位を目指したい。悔しい成績が続いている分、勝ちにこだわって強い橘を取り戻す」と意気込む。

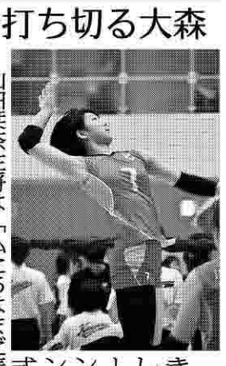
注目の選手は、オポジットの小松原凜香。昨年1年間、エースとしてチームを支えてきた。高い打点からのパワフルなスパイクが持ち味で、好調を維持しており今年はさらにパワーアップしたプレーに期待。

◇京都橘大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	坂本梨瑠	4＝岡山理大付
OH	谷口沙弥	4＝京都橘
MB	西村美海	4＝大阪国際滝井
OP	小松原凜香	3＝松江北
S	山岸優月	2＝東京都市大塩尻
MB	江藤夕夏	1＝大阪緑涼

龍谷大

どんな場面でも強気で打ち切る大森



半日練習を週6日行ってきた。3月は新入生も合流し、チーム内でコミュニケーションを取ることをメインにフォーメーションやコンビの確認をしつつ試合形式練習を積んだ。

山田栞奈主将は「私たちはまだ春秋通じてリーグ優勝の経験がありません。今年こそは優勝して、この先の試合につなげていきたい。3年ぶりの春季リーグ戦、全員で勝ちをつかみにいきます」と、18年度秋季以来5シーズンぶりの（2度のリーグ戦中止を除く）リーグ戦制覇に向けて気合十分だ。

注目の選手は、アウトサイドヒッターの大森愛＝写真。どんな場面でも強気でボールを打ちきるパワフルなスパイクが持ち味。最上級生としてチームを勝利へ導く活躍が期待されている。

◇龍谷大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
S	安積あやね	4＝日ノ本学園
OH	大森愛	4＝札幌山の手
MB	山田栞奈	4＝京都橘
OH	加藤花	3＝坂出商
MB	古田凪沙	3＝京都橘
OH	立川さくら	1＝高松商

千里金蘭大

力強いスパイクが持ち味の水野

基礎練習で土台をつくり、チーム内の紅白戦を行う中で一人一人が課題を明確にし、個人がスキルアップすることでチーム全体の底上げを図ってきた。

吉田真奈主将は「選手同士のコミュニケーションを大切にし、人間性にこだわる中で選手一人一人が思いやりのあるプレーを心がけて日々練習している。スピードのある多彩なコンビバレーを展開し、速さ、技術、チーム力で関西の頂点に立つ」と力強く話した。

注目の選手はミドルブロッカーの水野梨加＝写真＝とオポジットの松山妃菜。水野は力強いスパイクが持ち味で、松山はハイジャンプから繰り出されるパワーあふれるスパイクで得点を重ねる。苦しい場面で上がってくるトスにも対応できるのが強み。

◇千里金蘭大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	林あやの	4＝京都両洋
MB	水野梨加	4＝四天王寺
L	吉田真奈	4＝誠英
OP	松山妃菜	3＝鹿児島南
S	今村弥沙樹	3＝都城商
MB	稗田美羽	2＝神戸野田
OH	川畑由衣	1＝鹿児島女

天理大

大和主将「粘りのバレーで」巻き返し

新型コロナウイルス感染防止対策を行い週6日、半日もしくは一日練習を実施。3月は粘りのあるプレーで勝負できるように基礎的な練習も怠らず、週2、3回のウエートトレーニングでフィジカル面での強化も図ってきた。

大和涼音主将＝写真＝は「春季リーグ戦は天理の強みである粘りのバレーを展開して結果を残し、秋リーグに向けて自信につながる試合にしていきたい」と、9位に終わった昨秋からの巻き返しを誓う。

注目の選手は、オポジットの岡村南奈。相手のブロックを打ち抜く力強いスパイクと高さのあるブロックが武器。これまでケガに悩まされながらも積み重ねてきた思いとともに学生生活最後の春季リーグに臨む。

◇天理大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	大和涼音	4＝奈良女
OP	岡村南奈	4＝誠英
MB	橋本莉奈	4＝北陸
MB	小林和花奈	3＝京都橘
S	別宗光	3＝就実
OH	斎藤沙也香	3＝履正社

園田女大

ジャンプ力ある川釣の強く早い速攻

週6回の練習では全員がマスク着用して練習を行ってきた。3月はゲーム形式を中心に練習で取り組んだ内容を試合の中で実践し精度を高め、日々向上させた。

神谷歩実主将は「昨年とメンバーも変わらないため、練習で完成度を高めた。ベスト6以上の上位を目指し、秋に向けて初戦から勢いをつけて戦う。私たちは身長もそこまで高くないのでブロック、レシーブを中心に守備を固めて粘り強いプレー、個々の技術を生かした攻撃で勝利をつかむ」と、昨秋の8位からの前進を狙う。

注目の選手は、ミドルブロッカーの川釣奈津＝写真。ジャンプ力があり、強く早い速攻が持ち味だ。ブロックなどの守備、チームの雰囲気づくりも期待される。

◇園田女大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	神谷歩実	4＝氷上
MB	中尾奈蘭	4＝沼田
MB	川釣奈津	3＝氷上
OP	中谷有希	3＝履正社
OH	佐野綺音	3＝氷上
L	加藤一葉	3＝富山第一
S	森愛可	2＝北陸

京産大

昨秋新人賞受賞、高い技術誇る高澤

新型コロナウイルス感染対策を取りながら週6回の練習を行ってきた。粘り強い守りを目標にレシーブ練習を中心に取り組み、ゲーム形式も増やしながら試合に向けて調整を進めた。

文大夏希主将は「春季リーグ戦では、上位3位以上を目指して毎日、練習を重ねてきた。また、例年同様に全日本インカレに出場できるようチーム一丸となって戦う。私自身、大学生活最後の一年を後悔なく終われるように精いっぱいプレーしたい」と今年の目標を掲げる。

注目の選手は、アウトサイドヒッターの高澤理子＝写真。昨秋は1年生ながらチームのエースとして健闘し、新人賞を受賞した。高い技術を誇るスパイクやレシーブが持ち味だ。

◇京産大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	文大夏希	4＝金沢商
OH	前川栞里	4＝大社
L	山本珠乃里	4＝開智
S	岩本香織	3＝福井工大福井
MB	日下部南	3＝岡崎学園
OH	高澤理子	2＝金蘭会
MB	高田帆花	2＝広島桜が丘

関西福祉大

斎藤主将「初の1部でも必死に戦う」

「初めての1部リーグという未知の世界で自分たちの実力がどの程度か分かりません。一戦一戦必死に戦い、上位に食い込めるようにしていきたい」と、18年創部から5年目で昇格した舞台で全力でぶつかることを誓った。

注目の選手は、アウトサイドヒッターの田村光。昨秋の2部リーグ戦では2年生ながら最優秀選手賞を獲得した。パワーでハイセットを打ち抜く技術が優れており、初めての1部リーグでもエースとしての活躍が期待されている。

2月は個々の体力とスキルを高めることに重点を置き、3月に入ってから徐々にチーム練習を実施した。中旬以降、他大学との練習試合で実戦感覚を培ってきた。

斎藤野乃花主将＝写真＝は「2年生3人が中心となってチームを引っ張り、優勝を目指します」と、11位に終わった昨秋の雪辱を期す。

注目の選手は、ウイングスパイカーの石倉。昨年は関西選抜に選出され、パワーのあるサーブやスパイクが持ち味だ。

◇関西福祉大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
L	金子菜南	4＝金光大阪
S	今村芽維	3＝鹿児島南
OP	逢坂美希	3＝城南
MB	徳竹沙羅	3＝玉野光南
MB	福田彩水	3＝岡山南
OH	田村光	3＝日ノ本学園
OH	喜田実丘野	2＝金蘭会
L	小林なづな	2＝就実

芦屋大

石倉主将「常に挑戦者として勝利を」

新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら週6回、2時間のボール練習を行ってきた。3月はプレーの質を高め、チーム内での連係を向上させるために試合形式を中心にして開幕に備えた。

石倉愛梨主将＝写真＝は「昨年は思うような結果が残せなかったため、継続をテーマにして日々の練習に取り組んでいる。新たに加わった戦力とともに、常に挑戦者として勝利をつかみたい。春季リーグ戦が開催されることに感謝し、4年生3人が中心となってチームを引っ張り、優勝を目指します」と、11位に終わった昨秋の雪辱を期す。

注目の選手は、ウイングスパイカーの石倉。昨年は関西選抜に選出され、パワーのあるサーブやスパイクが持ち味だ。

◇芦屋大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
OH	石倉愛梨	4＝京都橘
L	露本優月	4＝兵庫大須磨ノ浦
MB	江川有香	3＝徳山商工
L	山口明莉	3＝誠英
OH	尾上遊里夏	2＝大阪成蹊女
S	杉野遥香	2＝金蘭会
OP	奥出望未	1＝奈良文化
MB	鈴木美柚	1＝京都橘

関大

升谷主将「全員でチームつくっていく」

半日練習を週6日行ってきた。今年のチームの強みは、堅い守備力。ブロックに力を入れ、安定したレシーブ力で粘りのあるバレーをつくり上げてきた。ウエートトレーニングやサーキットなどの体力強化にも力を入れ取り組んだ。

升谷未来主将＝写真＝は「春季リーグ戦のチーム目標は優勝。そして、全日本インカレベスト4を目指す。チームにさまざまな立場から関わり、全員でチームをつくっていきたい」と、一丸バレーを誓う。

注目の選手は児玉光涼だ。レシーブ力の高いセッターとして、守備の中心。粘り強いレシーブと負けず嫌いな気持ちがプレーに表れる。多彩なトスワークでスパイカーの長所を引き出す。

◇関大予想スタメン◇

ポジション	氏名	学年＝出身高校
MB	升谷未来	4＝金蘭会
OH	岡崎凛華	3＝就実
OH	吉岡和奈	3＝須磨友が丘
S	児玉光涼	3＝金蘭会
OP	中屋ちひろ	3＝和歌山信愛
MB	川上良江	2＝金蘭会